

## 第7回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会会議録

○ 日 時 平成29年12月8日（金）午後3時

○ 場 所 遠軽町役場 3階 大会議室

○ 出席者 別紙のとおり

○ 会議内容

### 1 開会

進行：伊藤会長

### 2 報告

#### (1)（仮称）えんがる町民センターの管理運営について【資料1】

説明：地域拠点施設準備室 今井

説明要旨
<p>（仮称）えんがる町民センター管理運営方針（素案）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 1ページ目 はじめに 町民センターの建設に至った経緯や検討経過を記載。町民センターの望ましい管理運営の在り方の方向性を示すため、この方針を策定する。</li><li>・ 2ページ目 施設の位置づけ 上位計画との関係や施設の基本的な機能、基本設計として、各部屋の面積や利用イメージを記載。この部分は面積確定後に修正を加えたい。</li><li>・ 5ページ目 運営 管理部会で検討していただいた内容を基本に記載。休館日等の設定、利用申請方法、申請時期、使用料金に関すること、6ページ目には、使用区分を時間単位とすることや、その他として、使用の制限や飲食、喫煙などについて記載。下の（2）の運営組織の考え方は、町民センターの管理運営については、遠軽商工会議所が指定管理者として、今後、具体的な協議を進めていくが、この町民センターは、貸館事業のほかに、自主事業の企画や舞台技術といった専門性も必要、アドバイザーや外部の人材を効果的に活用していくことも重要。</li><li>・ 7ページ 組織体制のイメージ 館長の下には、総務責任者、事業責任者、技術責任者がおり、スタッフがそれぞれぶら下がっている。アドバイザーについては、館長や事業責任者、技術責任者に対するアドバイスを行っていただくもの。その下の、イの基本的な業務内容は、それぞれの部門における主な業務内容を記載、指定管理者が行う業務のイメージとなる。次に（3）のサービスは、町民センターで行うサービスの一覧を記載。情報コーナー、カフェ、ギャラリー、WiFi 環境と公共歩廊の整備について記載。</li><li>・ 9ページ目 事業 （1）の事業実施の考え方として、アの自主事業については、主に大ホールを利用した様々なジャンルの公演事業を企画、地域の人々にできるだけ多くの鑑賞機会を提供するもの。事業モデルとして、鑑賞、参加創造、普及啓発・育成として、それぞれ案を記載。参加創造の区分のうち、全国規模のジャズピアノコンクールやオホーツクポップスコンクールについては、管理部会からご提案いただいた事業となっている。次に、イの貸館事業については、町民や文化団体、学校等に大ホールをはじめとする諸室を提供する事業、町民センターにとっ</li></ul>

て大きな収入源となる。窓口でのトラブル対応などを適切に行い、利用者にとって気持ちよく利用していただけるように、常にサービスを高めていく必要がある。ウの連携事業については、町民センターが「町民のよりどころ」となるために、地域住民との連携や学校との連携、関係団体などの外部と積極的に連携し、事業を展開するもの。

・ 10ページ (2) のプレ事業・開館記念事業

プレ事業については、町民センターの開館に向けて、早い時期から施設の周知を行い、期待や関心を高めるようなイベントを既存の公共施設などで実施するもので、町民や関係団体との協力連携により企画・実施するもの。イの開館記念事業については、完成した施設を使用して最初に行う事業ということで、町民をはじめとする多くの関係者と完成を祝うとともに、新しい施設の設備や機能を周知する重要な機会となり、早い時期からどのような事業を行うか計画する必要がある。ウの事業推進体制については、早い段階から、プレ事業や開館記念事業の準備を行うための推進体制を構築しておく必要がある。施設を所管する課をはじめ、指定管理者や町民参加により検討する必要がある。

・ 11ページ 予算

収入、支出のそれぞれの考え方を記載。

・ 12ページ目 スケジュール

町民センター開館後、スムーズな施設運営を行うため、指定管理者が日々の業務をイメージしながら、開館準備業務を行う必要がある。準備業務を始める前に、指定管理者との協議や議会の議決を経ることなど、指定管理者が決まるまでには、一定の期間が必要。現在想定しているスケジュールでは、平成30年度中に指定管理者との協議を行い、平成31年度には指定管理者の議会議決をいただきたいと考えている。そうすることで、開館前のプレ事業・開館記念事業に係る企画や広報のほか、貸館事業の申込受付も、開館1年前から始める必要がある。受付、案内、舞台機構、照明、音響設備を担うスタッフの育成や、施設設備の操作、運用のための訓練期間なども必要となる。

・ 今後は、施設の建設費やランニングコスト算出後に使用料金の算出や町民センターで行う事業について、さらに部会で検討を行い、方針を完成させていきたいと考えている。また、この管理運営方針は、検討協議会が素案を作成し、その素案をもとに、平成30年度の早い時期に遠軽町が方針を策定したいと考えている。

・ 各種事業について具体的な検討をするため、商工会議所をはじめ、文化連盟や町民センターを利用する団体からメンバーを選定し、事業部会を立ち上げたいと考えている。説明は後ほど行う。

【意見】

発言者	内容
伊藤会長	料金関係については、まだはっきりしていません。各地の施設について、料金が高いところ低いところは何故そうなのか、現地に行って聞いた方が良いのではないのでしょうか。施設管理についてもそうだと思います。
事務局	平面図が固まったら、管理部会で施設の利用の仕方などを具体的に検討していただきます。実際に運営されている文化センターなどを見て、管理上の問題な

	どを直接担当者から聞く機会を設けて、管理運営方針に活かしていきたいと考えています。使用料金の部分も実態を聞きたいと思います。
伊藤会長	任期があるため、できれば2月中に視察に行き、3月中には運営方針を完成させたいと思います。
大西委員	指定管理者には商工会議所がなるという方向で進んでいくと思いますが、事業についてはどうなるのでしょうか。
事務局	事業部会を新たに立ち上げる予定です。
大西委員	施設管理が、指定管理者の主体業務となるのでしょうか。
事務局	事業企画も指定管理者業務の中に入っているので、十分関わっていただくことにはなると思います。
大西委員	関わるだけで、先頭に立つわけではないということでしょうか。
事務局	それも事業部会で検討できればと思います。
大西委員	館長のこともあるので、方向性をしっかり決めておかなければいけません。事業の方向性を誰が決めるのかもそうだと思います。イメージを見ると、商工会議所がすべて行うように感じますが、それは無理だと思います。施設管理が主たる業務で、事業については、新しい組織が行った方が良くと思います。
事務局	運営協議会など、新しい組織については他を参考にしながら検討していきたいと思っています。

## (2) 都市再生整備計画事業について【資料2】

説明：地域拠点施設準備室 今井

説明要旨
<ul style="list-style-type: none"> <li>都市再生整備計画事業とは、地域の歴史、文化、自然環境等の特性を活かした地域主導の個性あふれるまちづくりを実施、都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済、社会の活性化を図るための制度となっており、市町村が作成する「都市再生整備計画」に基づいて、実施する事業に対し、国から交付金が交付される事業。</li> <li>市街地の活性化を図ることはもちろん、この町民センターの建設に係る財源を確保するというのも、まちの財政のことを考えると非常に重要。都市再生整備計画事業を積極的に進めていきたいと考えている。</li> <li>市街地において、交流センターや道路の整備のほかに、公園、駐車場等の基幹事業や、空き店舗の活用やにぎわい創出イベントの支援などの提案事業を行い、市街地で面的な整備を行うことによって、快適なまちづくりを実現するもの。</li> </ul> <p>3の都市再生整備計画事業の実施についてということで、(仮称)えんがる町民センターの建設や町道岩見通の改良工事をはじめとする基幹事業と、地域の創意工夫を活かしたハード事業や、まちに魅力と潤いをもたらすソフト事業の提案事業等により、中心市街地に新たなにぎわいを生み、人と人との交流の場を創出するため、都市再生整備計画事業を計画的に実施するもの。事業の一覧表は、あくまでもたたき台のため、今後、内容に変更が生じることをご了承いただきたい。</p>

### 基幹事業

- 道路として、町道岩見通の岩見通南 1～2 丁目の区間は、町民センターの前面の道路を一方通行から対面通行に切り替える工事となる。町道岩見通の岩見通南 2 丁目～4 丁目の区間は、イト電前から円山交差点までの区間、道路がかなり傷んでおり、修繕を行う。
- 地域生活基盤施設の広場は、JR 遠軽駅周辺に広場を整備するものとしているが、内容については未定。
- 地域生活基盤施設の駐車場は、福祉センターの取り壊し後の敷地を駐車場として整備したり、西町の鉄道高架橋のところにある西町駐車場もかなり痛んでいることから、再整備するもの。
- 地域生活基盤施設の情報板は、町民センターへの誘導看板の設置や、町民センター前に、現在、木楽館前にある観光情報板を設置するもの。
- 高質空間形成施設として歩行支援施設は、これは町民センターに隣接した公共歩廊について記載したもの。
- 高次都市施設は地域交流センターとなっているが、これが町民センターの建設になる。

### 提案事業

- 主にソフト事業、地域創造支援事業として、まちなかにぎわい創出事業については、空き店舗や空家の活用として、空き店舗や空家を使用して、開業したり居住をする方に対して、改修費用や不動産の手数料の一部を助成し、まちなかにぎわいを創出するもの。例えば、カフェや工芸品の工房、車やバイクのガレージとしてディスプレイしたり、様々な活用の方法により、遠軽町の新たな情報発信を期待するもの。
- まちなかイルミネーション事業ですが、中心市街地に賑わいや明るさをもたらし、JR の利用促進や観光客の集客を生むため、市街地中心部の様々なコンテンツにイルミネーションを施すもの。コンテンツとしては、瞰望岩やその下の樹木、SL、公園遊具のほかに商店街には新たなイルミネーションや、街路樹、遠軽駅や鉄道の高架橋、鉄塔など、大胆にまちなかをイルミネーションで飾るもの。

### 関連事業

- 旧ふぁーライトの改修事業と図書館の改修事業を載せているが、計画している区域内において、都市再生整備計画に関連する事業を記載している。整備方針概要図（たたき台）として、赤の線の区域が今回の計画区域として設定しており、先ほどご説明した事業の位置をそれぞれ記載している。目標を達成するために基幹事業と提案事業、関連事業をバランスよく組み合わせて実施し、市街地の活性化を図るとともに、JR の利用促進といった地域課題も踏まえて、計画を策定する。
- 事業内容については、あくまでも計画のたたき台であり、このように事業が進むということが確約されているものではないが、先日、新聞報道にもあった通り、若手職員によるプロジェクトチームを作り、各種事業の実施に向けた作業を行いたいと考えている。
- 地域住民や関係機関からの意見なども踏まえ、来年の5月には計画内容を固めたいと考えている。

【意見】

	内容
本間委員	実現可能かは分かりませんが、電柱の地中化はできるでしょうか。
事務局	可能ですが、北電や関係機関との協議を考えると、相当な時間が掛かります。平成31～34年度の4か年で考えているので、その期間内で整備するのは困難かと思えます。
本間委員	町民センターの新しくできる部分を作る際に、掘ることになりますが、それに合わせてできないのでしょうか。
事務局	新しくできる部分については、できるだけ屋外のもの埋めていきたいと考えていますので、すっきりした景観になると思います。
本間委員	商工会議所の中でもそのような景観の話が出ました。
事務局	この事業については、今回初めてお知らせしたのですが、商工会議所や商店街振興会など関係する機関の皆さまには、是非、お話を伺いたいと思っています。
伊藤会長	全体の事業費はだいたいどれくらいでしょうか。
事務局	まだ決まっていませんが、例えば全体で40億掛かったとして、町民センターの建設の部分で公表しているのが35億で、35億のうち、この事業でできる限度額は23億となっており、それ以上はみ出た部分は町の持ち出しとなります。23億のうち4割が国の交付金として出るようになっていきますので、40億の場合は、約10億の交付金がおりにることになります。事業ごとに限度額が決まっているものもあるので、理解するのはなかなか難しいかもしれません。
本田委員	空き店舗を活用するお店については、ただ募集するだけではなく、こういったお店があれば良いなという働きかけをして欲しいです。想像図などを描いてもらって、バラバラではなく、飲食店は並んでいるなど、まとまったものを青写真として描いてもらいたいと思います。
伊藤会長	商店街振興会とも話をしながら進めていきたいと思っています。空き店舗を利用する場合に、改修費を出してもらえるのは嬉しいですが、若い人が新しく事業を起こす場合に、ゼロからのスタートになるため、銀行はあまり当てになりません。町の方でお手伝いいただければ、さらに活用してくれる若者が増えると思います。1年経つと実績が出てくるので、銀行もお金を貸してくれるようになるのではないのでしょうか。
事務局	そういった意欲のある方がどんどん出てきてくれれば、町も対応を考えたいと思っています。ただ、今の時代に一つの道でやっていきたいとなると、勇気も必要になってきますし、100%ではなく50%は助成しますのでなった場合、残りの50%をどうしていくかだと思います。やりたいという方がいれば、色々な助成制度を使ってやってもらいたいです。そのためにも、町の方でこういった事業で街中を整備して、ここでやってみようと思える仕組みを作っていきたいと思っています。

本間委員	空き店舗を町の方で買っていただいて、簡易的にでも改修してもらえれば、家賃面などで若い方が入りやすいのではと思います。
事務局	本人の意欲が一番大切だと思います。本気でやりたいということであれば、何らかの措置はしたいと思っていますが、空き店舗を町で買い上げて、改築して貸すとなると、なかなか難しいと思います。やる方自身で改修してもらって、その費用の一部を町で助成するというのが、今までのやり方です。色々なやり方はあると思いますので、ご意見を伺って検討していきたいと思っています。

### 3 議題

#### (1) (仮称)えんがる町民センター建設基本計画について

説明：準備拠点施設準備室 今井

説明要旨	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の施設部会、管理部会において、最新の設計図面をご覧いただき、その平面に併せた3Dの内観・外観イメージもご覧いただき、平面図の内容については、皆様の了解をいただいた。遠軽町議会の各常任委員会や役場庁舎内の部課長等で組織している検討委員会においても、平面図の内容については了解をいただいた。</li> <li>・細かな図面の修正は今後もでてくると思うが、前回の会議で図面を持ち帰っていただき、じっくりと内容をご覧いただけたかと思うので、設計内容に何か気付いた部分などがあれば、本日、最終的なご意見をいただきたい。</li> <li>・本日、配布しているA3版の両面に印刷したものは、1階と2階の平面図になるが、内容については、前回と同様の図面。</li> <li>・今後は、この平面図をベースに内観計画、外観計画、舞台上の音響計画などの設計を具体的に進めて、年明けの会議から、また、皆様のご意見を伺っていきたい。</li> <li>・この図面をもう少し簡略化したものを、広報えんがるの新年号に掲載したいと考えている。</li> </ul>

#### 【意見】

発言者	内容
高桑委員	トイレの図面で男女ともに1つずつある一番奥にある部屋は、身だしなみの部屋でしょうか。
コンサル	掃除用具入れです。
高桑委員	できれば、女子のトイレに身だしなみを整える部屋があればと思います。札幌のKitaraなどではあるのですが。トイレの個室の中で着替えるのではなく、その部屋で着替えができるの良いと思いますが、作ることは可能でしょうか。
コンサル	今の計画では、化粧をするような鏡だけを置いてある部分が1か所あり、男女1か所ずつある多目的トイレには、フィッティングボードを設置しています。
高桑委員	便器はいらないので、小上がりのようなちょっとした部屋があると良いなと思うのですが、そういう部屋は必要ないでしょうか。

本田委員	湧別、上湧別とどちらも舞台を使わせていただいたことがありますが、若い女の子はまったく気にしないです。ここで着替えるのというところで着替えます。
高桑委員	男子の便器の後ろ側は、どれくらいのスペースがありますか。
コンサル	3mくらいはあります。
高桑委員	すべての便器ではなくて良いのですが、衝立を設置することは可能でしょうか。後ろに立たれるのが嫌な人や、人に見られるのが嫌な方が多いと思います。
コンサル	後ろで待つというのは、なかなかないと思います。列の並び方を図などで示せば大丈夫だと思います。
伊藤会長	気になる方は、大便器の方を使えば良いと思います。そこまで心配する必要はないのではないのでしょうか。
本田委員	女性トイレで、入っているかどうかがすぐにわかるような表示があるところがありますが、そんなにお金が掛からないのであれば、付けてほしいと思います。
コンサル	ドアノブで自動表示になるものはあります。一般的なものは小さいので、もっと見やすいものにするなど配慮をしたいと思います。 トイレの図面で補足をしたいのですが、イベントなどで、来場者が男女均等の数にならない場合があります。例えば、女性が多いイベントでは、男女のトイレの仕切りを移動することによって、大便器の数を増やせるようにしたいと思っています。完成後の維持管理でキレイに保つことを考えると、トイレの中にあまり部材を置かない、掃除しやすい、汚れた場合に気が付きやすいものなどが重要だと思います。
高桑委員	トイレの扉は未使用時、開いているのでしょうか。扉が閉まっているのに叩く方がいます。扉が閉まっている時は入っているとわかるようにしてほしいです。ランプだけではなく。
コンサル	外からドアの表示を見ていただければわかると思います。
平野委員	最近、外に掲示板のような形で表示しているところがあります。
大西委員	オムツ替え台は設置されるのでしょうか。
コンサル	多目的トイレの中に設置します。
大西委員	座席については特注でしょうか。
コンサル	既製のものです。特注にしてしまうと、更新の際に大変お金が掛かりますので、既製品で可能な幅のあるものを想定しています。
大西委員	座席に番号が入ると思いますが、高齢化社会なので、スタート部分のボードは大きくしてもらった方がわかりやすく良いと思います。美幌などは表示がすごく大きいです。
コンサル	わかりました。

## (2) その他

### 事業部会の設置について

説明要旨	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民センターで行う各種事業を検討するため、「事業部会」を新たに設置したいと考えている。</li> <li>・メンバー構成については、商工会議所や文化連盟、利用団体などと調整し、新たな部会員を決定したいと考えているが、この検討協議会の中から何人か加わっていただきたい。自薦他薦を問わず、どなたかにお願いできればと思うのでよろしくお願いいたします。</li> </ul>	

【意見】

発言者	内容
伊藤会長	参加したい方はいませんか。
高桑委員	先ほどもありましたが、商工会議所が事業にどれくらい関わってくるのかなと思います。管理運営は商工会議所ですが、事業は事業部会を設けて立案しながらやっていくのが良いと思います。
事務局	今話している事業部会では、町民センターとしてどういった事業が良いか提案をいただくもので、実際に動き出す前に、運営協議会など事業に関する組織を立ち上げる予定です。その方法で良いかも事業部会で議論していきたいと思います。
本田委員	事業部会では、実際に企画をすることはないのでしょか。
事務局	企画まで踏み込んで早めに作業した方が良いものについては、進めていきます。それを町民センターができるまでに新しい組織に引継ぐ予定です。それを含めて、商工会議所には始めから参加していただくように考えています。
村上委員	事業部会の開催間隔はどれくらいでしょうか。
事務局	現在、開催している部会と同じくらいの間隔になると思います。事業部会については、太田アドバイザーに関わっていただくことが多くなると思いますので、意見も聞きながら、実際にどういったものを進めていくか検討したいです。今言えるのは、町民センターの事業について検討するという事です。
高桑委員	事業の提案だけでしょうか。提案したものを煮詰めていくのはまた別の運営委員会などでしょうか。その方がわかりやすいと思います。
事務局	物によっては煮詰めなければならないと思います。今の時点で、運営委員会を立ち上げた方が良いということでしょうか。
宮崎委員	今ある検討協議会との関係はどうなるのでしょうか。
事務局	施設部会、管理部会と横並びで事業部会があります。検討協議会は、今年度末までの任期となっているが、その後も継続して検討協議会を残していきたいと思っています。実施設計が来年4月頃から始まって、事業費やトイレの仕様などを決定していくと思いますので、皆さんにお話しを伺いながら、検討協議会を進めていきたいと考えています。それと並行して、事業部会を立ち上げてその中で動いていくイメージです。

本田委員	舞台上で必要なものなどを感じているので、事業部会に参加したいと思います。
秋田委員	何人くらいを想定しているのでしょうか。
事務局	6～7名程度が良いのではないかと考えています。
大西委員	プレイベントやオープニングイベントなどもそのメンバーで行っていくのでしょうか。
事務局	その部分も検討していくように考えています。
伊藤会長	ここにいるメンバー以外も入ってくるということです。
大西委員	ほかにも将来的に、町民センターの運営スタッフやサポーターの組織も必要になってきますが、現段階ではまだということですよね。
平野委員	その人達についても、事業部会で決めていかなければいけないと思います。
本田委員	集まって話し合いをして、どうしても必要であれば、必要なところで集まってもらおう形が良いと思います。
事務局	外部からの意見を聞くこともできるので、問題ないと思います。前回、文化連盟に積極的に関わっていただくという話もあったので、これから教育委員会とも調整しながら進めていきたいです。また、若い方を入れてはどうかという話もあったので、商工会議所など3年後の管理運営に携わる人に入ってもらって、考えていくことも必要だと思っています。
秋田委員	事業部会は、でき上がったら単独で動くのではなく、管理部会、施設部会と同じようにということでしょうか。検討して、全体会議に持っていくという形となるでしょうか。
事務局	そのように考えています。事業部会で検討したことも、管理運営指針に盛り込んでいきたいと思っています。
秋田委員	利用団体などからも入ってもらわないといけません。
村上委員	機能を持たせようと思ったら、大人数になるかもしれません。
事務局	次回までに、その点についての資料を用意しておきます。
伊藤会長	今の段階で、参加しても良いという方はいますか。 【挙手】村上委員、本田委員、平野委員、平間委員、大西委員、高桑委員

#### 4 次回会議日程について

##### (1) 施設部会

日時 平成30年1月19日(金) 午後3時～

会場 遠軽町役場 3階 大会議室

##### (2) 管理部会

- ・議案の準備ができ次第、案内する。1月の後半～3月中旬まで確定申告の業務で、会場が使用できなくなるため、別の会場で開催することを予定。
- ・管理部会の作業については、現在の平面図をもとに、どのような使われ方がよいか、さらに具体的に検討することになる。

例えば、①他の文化センターでの、管理運営上の色々な問題を担当者から直接伺う。②実際に利用する団体とのワークショップなどを行い、管理運営に係る意見を吸い上げるなど。

【意見】

発言者	内容
村上委員	<p>図面のことで、事前に事務局には質問をして回答をいただいているのですが、専門の方もいらっしゃるのので、改めて質問させていただきます。一番心配なのが防音で、左上の太鼓の部屋や大ホール小ホールで演奏があったときの遮音について、また、遠軽駅で汽笛が鳴った時に、中に聞こえないかという部分です。専門的に見て、どれくらいの防音ができるのか教えていただきたいです。</p>
コンサル	<p>コンクリートの壁1枚では遮音に限界があります。大ホール、小ホール、リハーサル室は真ん中に通路を挟んだ配置になっていて、壁2枚と真ん中の空間を設けることで遮音に努めています。壁についても、コンクリートの厚さが15cmが良いのか20cmが良いのか、部屋から出る音のレベルを考えて検討しています。遮音の計算は、簡単に説明すると、大ホールで100dBの音が出て、こっちで40dBの静けさが必要となった場合に、60の遮音をすれば良いということです。そこを考えて配置しています。ただ、現在の遮音のレベルはパーフェクトではありません。遮音や音響については、永田音響設計に協力していただき、打ち合わせをしています。永田音響設計からも指摘された話で、太鼓の音は120dBで、この建物の中で一番大きな音を出すと思います。大ホールの静けさは20～25dBを求めているため、大ホールと太鼓の部屋の間100dBの遮音をしていくというのは、高度な技術必要となります。ただ、これはどちらの部屋も同時に使用した場合の話で、技術の足りない部分は、同時使用を控えるなど運営上でカバーしていただくこととなります。制限がないように努力はしていますが、太鼓の部屋の壁や床を二重にしても、館内でよく聞けば聞こえてきます。あらかじめご理解をいただきたいと思います。今後、設計の中で詰めていきます。もう一点、外部の騒音ですが、大ホールは柱と柱の間隔が広いので、なるべく屋根や梁を軽くしたいと考えますが、遮音を考えて、屋根にもコンクリートを打とうと思っています。心配なのはJRの振動であり、振動が起きると、色々なものが揺れて音のもとになりますが、JRのデータを取り解析したところ、特殊な工具を用いなくても影響ないだろうということになりました。外部からの音についても設計にしっかり取り込んでいこうと思います。</p>
村上委員	<p>大ホールで交響楽団の演奏などがある場合、太鼓の練習は控えてくださいという風になる可能性はあるということですね。</p>
コンサル	<p>練習をずらしていただけないかというお願いをして、話し合いで決めていただくのがお金を掛けなくて良い方法です。それをしていただくと、その分工費も安くなります。</p>
高桑委員	<p>冷暖房のことで聞きたいのですが、冬場の雪を冷房に使うことはできないでしょうか。</p>
コンサル	<p>一時期流行りましたが、冷静に考えると、雪を保管するコストがかなり掛かります。今は、水を凍らして使う方が有利だと言われています。ですが、ラ</p>

	ソニングコストなどを考えると、今回はそういった観点からの採用は難しいと考えています。
高桑委員	冬は皆さん厚着で入ってくるので、部屋の温度設定の問題もあります。また、暖房の音の問題はどうでしょうか。
コンサル	静けさを出すのに問題なのが、空調の音です。空調の音を消すのはとても難しくお金も掛かります。設計自体がまだ進んでいないですが、ホールの静けさはだいたい20～25 dBくらいで、良いホールが20 dBと言われていきます。相当良い仕掛けをしなければ実現しません。25 dB以下で設計できれば良いなと考えています。まだ作業が終わっていないので、もう少しお時間をいただければと思います。
高桑委員	前にいただいた資料を参考に考えておけば良いですね。
コンサル	空調音は、まっすぐ吹くとすべて音になってしまうので、消音チャンバーと言って、曲げることで音が減少します。見えない部分でお金を掛けていただいたり、知恵が必要になってきます。
秋田委員	太鼓の部屋を大ホールと離れたわけですが、太鼓の部屋の横に守衛室があるのは大丈夫ですか。
コンサル	深夜まで練習することはないと思っています。
平間委員	振動はどれくらい感じるでしょうか。
コンサル	太鼓を叩く部屋は、通常の床の上に防振装置を置いて、その上にまたコンクリートの床を作り、そこで叩いてもらいます。ですが、振動をゼロにすること難しいと思います。守衛を置くかどうか、管理運営の部分で検討していただければと思います。
伊藤会長	本日の議題については、皆さんに承認いただきました。年内最後の会議となりましたが、来年以降もよろしくお願いいたします。

## 5 閉会

(午後4時30閉会)

## 第7回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会出席者一覧

区分	氏名	団体名等	備考
委員	本 間 克 明	遠軽商工会議所	
委員	横 田 昌 弘	遠軽町文化連盟	
委員	秋 田 博	えんがる商工会	
委員	宮 崎 良 公	遠軽町自治会連絡協議会	副会長
委員	村 上 武 志	えんがる町観光協会	
委員	本 田 ちづ子	ダンス教室 amiφアミ	
委員	藤 江 昭	遠軽町社会福祉協議会	
委員	平 野 由美子	フラスタジオ・UEDA	
委員	平 間 喜 弘	遠軽がんぼう太鼓同好会	
委員	伊 藤 榮 三	元遠軽町文化センター等を考える会会長	会長
委員	大 西 定 信	元遠軽町文化センター等を考える会委員	
委員	清水川 一 儀	一般公募、連合遠軽	
委員	高 桑 健 次	一般公募、元遠軽町文化センター等を考える会委員	
オブザーバー	小野寺 正 彦	民生部住民生活課長	
オブザーバー	金 沢 一 彦	経済部建設課長	
オブザーバー	井 上 隆 広	経済部建設課主幹	
オブザーバー	堀 嶋 英 俊	教育部社会教育課長	
事務局	加 藤 俊 之	総務部長	
事務局	斉 藤 隆 雄	総務部地域拠点施設準備室長	
事務局	今 井 昌 幸	総務部地域拠点施設準備室参事	
事務局	安 西 一 樹	総務部地域拠点施設準備室主任	
事務局	中川原 英 明	総務部地域拠点施設準備室専門員	
コンサルタント	株式会社石本建築事務所札幌支所		2名
コンサルタント	日本都市設計株式会社		2名
計	27名		

欠席：橋口理教委員（遠軽青年会議所）

井上幸次委員（北見地区吹奏楽連盟遠軽支部）

高橋利明委員（北見地区吹奏楽連盟遠軽支部）

太田晃正アドバイザー（有限会社時円プランニング代表取締役）